



◎水虫は「真菌」の仲間

真菌はキノコやカビ、酵母(イースト)などの総称です。この中にはコウジカビやビール酵母、ペニシリンをつくる青カビのように人間に役立つものもある一方で、人間に寄生して病気をおこすやっかいなものもあります。

水虫やいんきんたむしをおこす白癬菌も真菌の仲間です。

◎皮膚真菌症の種類

白癬菌・カンジダ菌・^{でんぶつ}癬風菌などの種類があります。

これらの真菌がおこす皮膚病(皮膚真菌症)をそれぞれ白癬・カンジダ症・癬風と呼んでいます。このうち最も多いのは白癬で、皮膚真菌症全体の9割近くを占めています。

◎水虫のタイプ 足白癬(水虫)には、3つのタイプがあります。

主に足の指の間にできる

し かん 趾間型

症状

皮がむけたり、白くふやけたようになります。

最も多いタイプです。

土ふまずや足の側縁などにできる

小水泡型

症状

小さな水疱ができたり、丸く皮がむけたりする

足の裏全体

角質増殖型

症状

皮が厚くなってかさかさになる

趾間型と小水泡型が同じ足に同時にみられることもあります。角質増殖型はめったにみられないタイプですが、足の裏がかさかさしている場合は、水虫かどうか検査してもらった方がよいでしょう。

◎水虫の家庭内感染と予防

感染場所

家庭内に水虫の患者がいると、落ちた皮に白癬菌がいて感染のもとになります。畳や床に落ちた菌は数ヶ月生き続けます。また、水虫の人がいる他人の家やプール、体育館、柔・剣道場など人の集まる所も水虫の感染源です。

治療

家庭内の水虫患者はいっせいに治療しましょう。

予防

手や足はよく洗う。足の指の股は特にていねいに。マットや靴下はこまめに洗濯、乾燥。掃除機で落ちている菌(落屑やチリなどに含まれる)を吸い取る。じゅうたんは特に念入りに。

◎水虫は3ヶ月を目安に薬を塗る

外用薬による治療では、体部白癬や股白癬なら、通常は2～3週間程度を目安にして治療を続けます。

足白癬の場合は最低でも2～3ヶ月以上治療を続けます。水虫は初期には割に治りやすいのですが、何年もたった水虫では、症状がない所まで水虫の菌が広がっていますので、1年以上もかかることが珍しくありません。早いうちに治療するように心がけましょう。

■ 毎日根気よく塗る

薬を塗る上で一番大切なことは、毎日根気よく、欠かさずに塗り続けることです。お風呂上りが効果的ですが、何よりも自分の都合のいい時間を決めて「毎日必ず塗る」ということを習慣づけることが大切です。

■ 薬は患部より広めに塗る

真菌は、厚い角質層の中に「根」を伸ばしており、発疹がでていいる範囲より広く侵入しているのが普通です。したがって、水虫薬を塗るときは、発疹がでていいる患部より広めに塗ることが大切です。また患部の皮をむいたり傷つけたりせず、指の間など塗りにくい所もきちんと塗りましょう。

